

No. 2517

葛城山～金剛山

日時 : 2016年6月26日
参加 : 岡本、大西、嶋原、中橋、山城、宮本(L)(記)

梅雨の合間のお天気恵まれ、近鉄御所駅よりバスで葛城山ケーブル山上駅へ、到着後身支度を整え出発です。9時出発、櫛羅の滝コースと、北尾根コースがあり、今日は北尾根コースを登ります。いきなり急な階段を登って行きます。目標位置の看板がア、イ、ウ、～カ、キ、とサ、迄の看板が立っています。しばらく急勾配の道を登ると、展望台に到着です。9時45分小休止後再び登り始めます。傾斜が緩やかな道になり緑豊かな雑木林が優しく広がり美しい景色にホットします。分岐右は、ダイヤモンド、トレール、左は、自然研究路です。右のダイトレコースを登ります。ダイトレに合流しました。「学校山」の表示があります。定かではありませんが昔この山林の所有者の方が学校を建てたのに、この材木を使って良いと新庄町に(現葛城市)に寄付されたとの経緯で「学校山」と言うのだか、山頂迄階段の多いダイヤモンド、トレールを登りきると葛城山山頂に到着です。10時45分、水越峠より登ってこられた嶋原さんと合流、標高959m山頂の展望台では大和平野が一望出来すばらしい景色です。写真撮影後、金剛山方面へと向かいます。11時10分つつじ園の左のみちの階段を下りて行きます。5月の連休には、つつじの花が山全体に、まっかに染め大勢の人でにぎわっています。水越峠迄急な階段が続～きます。滑りやすい石畳を下り峠の手前で中学生の団体と擦れちがう。水越峠到着12時5分、309号の旧道と交差しており、車道を渡り金剛山へ、ゲートをくぐった所すぐ横に東屋があります。が、少し先の林道の木陰でお昼タイムしました。12時10分～12時45分、ここからカヤンボの休憩所迄なだらかな登り坂が続く、沢筋から吹く風が心地良いです。この林道はガンドゴコバ線と名前が付いています。13時08分金剛の水場迄きました、アジサイが綺麗に咲いています。美味しい水で喉を潤し出発です。カヤンボの休憩所迄後少しです。左に橋が見えてきます。この橋を渡りカヤンボの休憩所を通過してここから先は、木の階段が続きます。パノラマ台に到着です。13時40分～13時50分、曇り空で、展望は、あまりはっきりしません。小休止して、ここからはしばらく、だらだら歩きが続く、分岐、右へ最後の急な木の階段をいやと言うほど続く、途中江戸時代に建てられた町石もみられ、階段もあと後少しです。急階段は終わり平坦な道になり、左から「郵便道、高天道が」合流してきます。もう少しで一の鳥居です。一の鳥居に到着しました。左に行くとダイヤモンドトレールの続き(伏見峠、紀見峠、岩湧山方面)です。一の鳥居から葛城神社右下のブナ林から葛城山が綺麗にみえます。葛城神社に到着です。金剛山の標高(1125M)三角点は葛城神社の中にあり「神域」の為入れません。参拝をして、転法輪寺へ、ここでS氏と、お別れです。バイクで帰宅する為「大日岳か」、「もみじ谷」?方面に下山されました。山頂広場に到着です。15時、いつもは、大勢の人で賑わっていますが、夕方になると山頂広場もひっそりしています。山頂広場でベンチに腰を下ろし、ビールにおでんが出てきました、至福の一時を過ごし、ルートを変更して、15時35分タカハタ道を下山する。Oさん先頭に尾根道をゆうくり下り、植林の中の急勾配になる、あじさいの花がチラホラ見え



始め後ろを振り変えると、山の斜面全体に小さな花びらのあじさいが群生しています、思わぬ自然の美しさに感動しました。

ひと時の疲れを癒してくれました。カメラに納め下山開始、植林帯の中木の根子に気を付けながら単調な下りが続きます。谷筋をトラバース気味に下って行きます。左に切れ落ちています。ロープが張られています。ブチ沢を下り林道に到着です。

16時45分、林道歩きして登山口バス停到着 16時50分バス亭にて、4人は、河内長野行き方面のバスに乗車、私は、富田林方面に乗車して解散しました。皆さんお疲れまでした。参加有難う御座いました。帰り人身事故で遅くなりました。